

1 調査名称：（大和郡山市）都市・地域総合交通戦略策定調査

2 調査主体：大和郡山市

3 調査圏域：大和郡山市域

4 調査期間：令和元年度

5 調査概要：

本市では、平成 27 年度に第 4 次総合計画、平成 29 年度に立地適正化計画が策定されるなど、まちづくりに関する計画の策定が進んでおり、これらの計画に基づくまちづくりを実現していくことになる。また、京奈和自動車道や城廻り線などの幹線道路等の整備が進められ、さらにリニア中央新幹線の間駅の設定を目指しているなど、幹線的な交通網の構築が進められており、これらの整備に合わせたまちづくりなど、交通とまちづくりの関係はますます密接に考えていくことが求められている。一方、公共交通空白地や、未着手の都市計画道路の整備、歩行者・自転車の安全確保対策など、本市が抱える交通問題は多岐にわたります。

このような状況を踏まえ、まちづくりの根幹として非常に重要な役割を担う交通について、将来のまちづくりを支えるとともに、本市が抱える交通課題の解決を図るため、効率的・効果的な都市交通施策を体系的・具体的に取りまとめた総合交通戦略の策定を行う。

なお、策定にあたっては実施プログラムを検討するとともに、市民アンケートやパブリックコメントを実施するなど、透明性の高い戦略とする。

I 調査概要

1 調査名称

(大和郡山市) 都市・地域総合交通戦略策定調査

2 報告書目次

1 計画書

大和郡山市総合交通戦略【本編】

2 計画書【概要版】

大和郡山市総合交通戦略【概要版】

3 現況データ集

大和郡山市総合交通戦略現況データ集

市の現況

市民意向の把握

上位関連計画

4 会議運営補助

第1回大和郡山市総合交通戦略検討協議会

第2回大和郡山市総合交通戦略検討協議会

第3回大和郡山市総合交通戦略検討協議会

事前意見照会

実施プログラムの照会

5 パブリックコメント

公表資料

提出意見と回答

6 打合せ議事録

7 電子データ

3 調査体制

大和郡山市総合交通戦略検討協議会（委員会）
（委員長：立命館大学名誉教授 春名 攻）

大和郡山市総合交通戦略検討協議会 事務局
（大和郡山市都市建設部都市計画課計画係）

4 委員会名簿等：

	所属	役職	氏名
委員長	立命館大学	名誉教授	春名 攻
副委員長	自治連合会	副会長	妻鹿 捷二
委員	社会福祉法人 社会福祉協議会	副会長	木村 公彦
委員	昭和工業団地協議会	副会長	中西 正昭
委員	一般社団法人 大和郡山市観光協会	事務局長	山内 英之
委員	西日本旅客鉄道(株)大阪支社	副支社長	宮本 芳明
委員	近畿日本鉄道(株)総合企画本部	計画部課長	山本 恒平
委員	奈良交通株式会社 乗合事業部	統括部長	米田 佳弘
委員	奈良県タクシー協会	専務理事	葛城 滝男
委員	近畿地方整備局	都市整備課長	鈴木 豪
委員	近畿運輸局奈良運輸支局 企画輸送・監査部門	首席運輸企画専門官	松尾 剛志
委員	郡山警察署	署長	(松本 昌二) 萬谷 充宏
委員	奈良県 郡山土木事務所	所長	村田 淳
委員	奈良県 地域交通課	課長	西村 和也

() 内は前任者

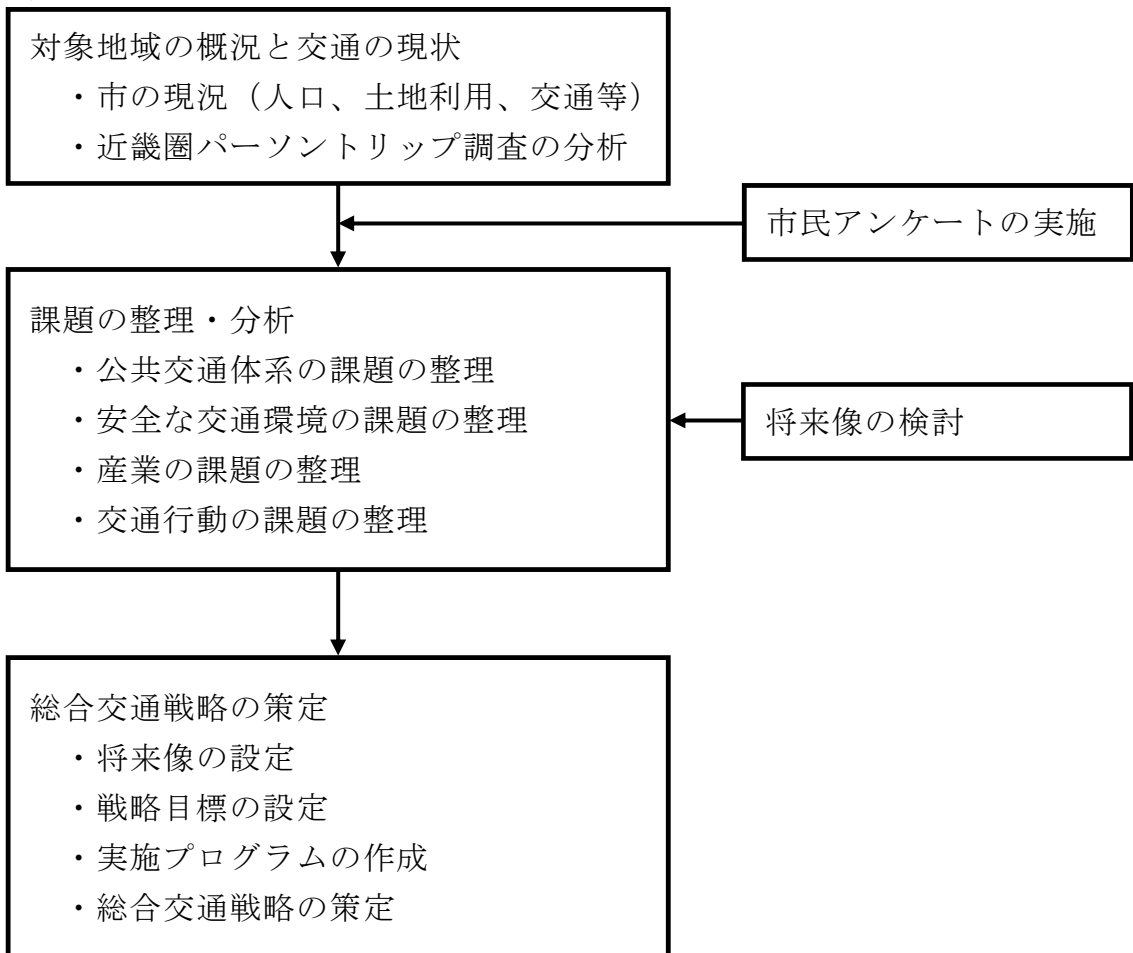
II 調査成果

1 調査目的

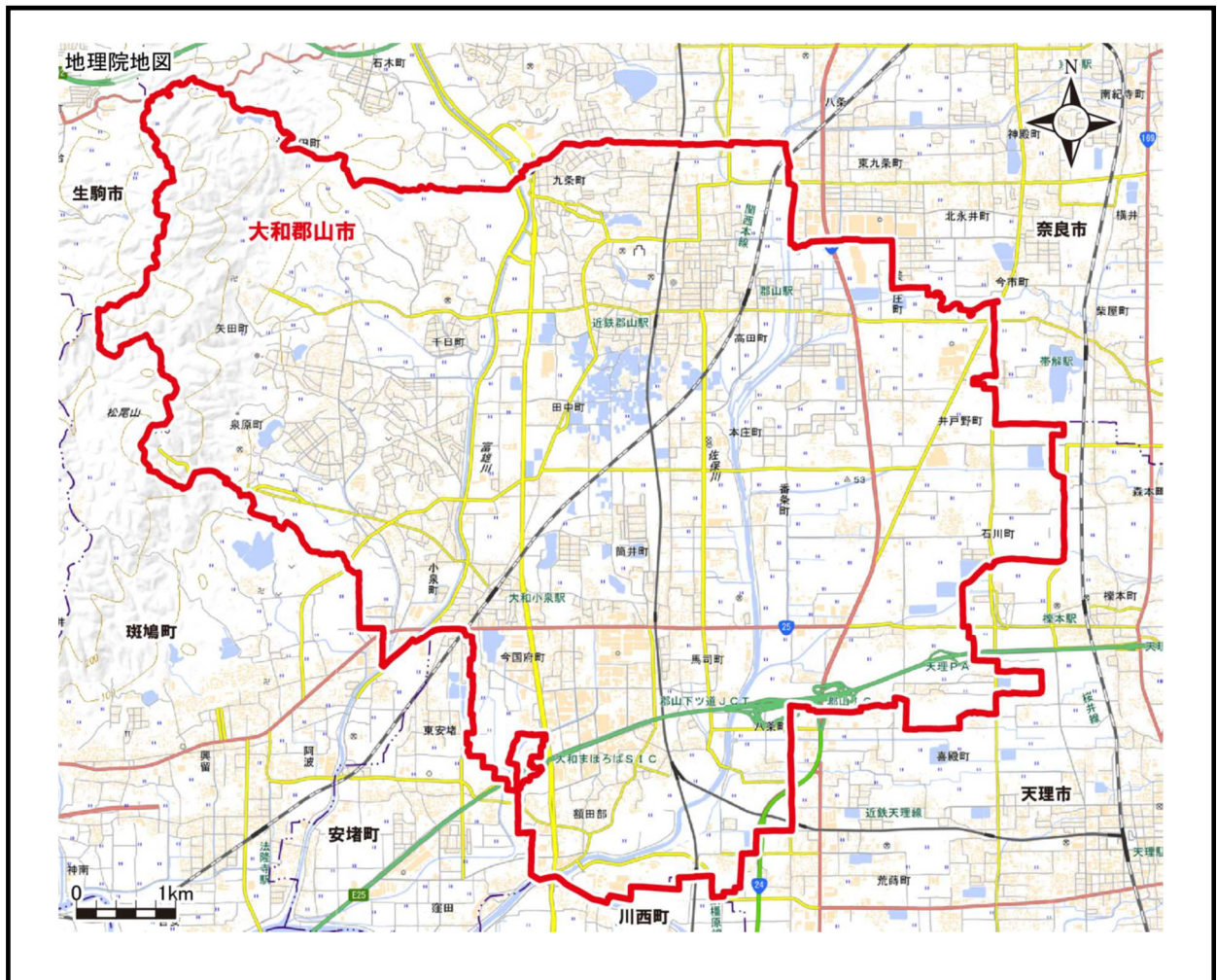
本市では、平成 27 年度に第 4 次総合計画、平成 29 年度に立地適正化計画が策定されるなど、まちづくりに関する計画の策定が進んでおり、これらの計画に基づくまちづくりを実現していくことになる。また、京奈和自動車道や城廻り線などの幹線道路等の整備が進められ、さらにリニア中央新幹線の間駅の設定を目指しているなど、幹線的な交通網の構築が進められており、これらの整備に合わせたまちづくりなど、交通とまちづくりの関係はますます密接に考えていくことが求められている。一方、公共交通空白地や、未着手の都市計画道路の整備、歩行者・自転車の安全確保対策など、本市が抱える交通問題は多岐にわたります。

このような状況を踏まえ、まちづくりの根幹として非常に重要な役割を担う交通について、将来のまちづくりを支えるとともに、本市が抱える交通課題の解決を図るため、効率的・効果的な都市交通施策を体系的・具体的に取りまとめた総合交通戦略の策定を行う。

2 調査フロー



3 調査圏域図



4 調査成果

以下の 5 点が成果であると考えています。

- ①課題の整理（市総合交通戦略本編 P24, 25）
- ②将来像の設定（市総合交通戦略本編 P26～28）
- ③戦略目標の設定（市総合交通戦略本編 P29, 30）
- ④実施プログラムの作成（市総合交通戦略本編 P31, 32）
- ⑤計画推進体制の確立（市総合交通戦略本編 P85）